



# 地域と共に、優しさの循環拠点へ

今回は、知的ハンディを持ったメンバーさんが通所する、地域活動支援センター“ほっとハウス”にお邪魔させていただきました。

大きく包み込むような笑顔で喫茶スペースに迎えて下さったのは、NPO法人ほっとハウスの理事長を務める松本千鶴さん。

隣の部屋では9名の通所者の皆さんが、3名の手芸ボランティアさんと共にトールペイントのコスター作りに挑戦しておられ、松本さんにお話をおうかがいしている間に個性豊かな作品が出来上がりました。

月曜と木曜は焼き菓子作り、金曜は手芸、その他、スポーツや配達、調理実習など地域活動支援センター“ほっとハウス”には、毎週盛り沢山のスケジュールが用意されており、当日の様子からも皆さんが楽しくいきいき活動されていることが伝わってきました。

お菓子はどれも手作りで温かみを感じられ、心がほっとするような美味しいお味でした。

また松本さんは11年前から、通所者の皆さんと共に、学校や老健施設、病院などにも積

極的に出かけ、日頃練習した楽器演奏や手話コーラスなどを披露し、直に会うという形で交流を広げていらっしゃいます。

松本さん自身、ダウン症のお子さんがおられ（ダウン症の方は顔に特徴があるため）初めての公園デビューの時、すれ違った大人が、子どもの顔を覗き込みにわざわざ引き返してきたことに対して、母親である松本さんは心が凍りつくような思いをされたそうです。

その時、「世の中には、いろいろな障害を持った人がいること、その障害の特徴について正しい知識を広め、理解を深め、出来るだけ誤解や偏見を減らしたい。」と強く思われたそうです。

「地域と直接触れ合い、交流を重ねることにより、互いに尊重し合い、笑顔の溢れる優しさの循環を生み出すことで、いのちの平等を実現したい。」「サポートを必要とする人が住みよい街は、サポートをする側の人にも暮らしやすい街。」と語る松本さんは、深く澄んだとても美しい瞳をしておられました。



NPO法人 ほっとハウス 理事長 まつもと ちづる 松本 千鶴さん

〒770-0047 徳島県徳島市名東町3丁目257番1号 TEL.FAX: 088-633-8121